

早稲田大学整数論セミナーの予定 (2026年度 第5回)

日時：2026年6月26日（金） 16:30～18:00

場所：〒169-8555 東京都新宿区大久保3-4-1
早稲田大学西早稲田キャンパス
52号館8階812室 (52-812)
対面と Zoom ミーティングによるハイブリッド開催

講演者：原岡喜重氏（城西大学）

タイトル：Katz理論の高次元化

アブストラクト：私は複素領域における微分方程式を研究していますが、整数論はこの分野に多くのテーマを提供してくれています。Grothendieckの p -曲率予想は整数論と微分方程式論にまたがる問題で、Nicholas M. Katzは微分方程式の理論（rigid局所系の理論）を作り上げることで、rigidな微分方程式に対してこの予想を解決しました。その一方Katz理論は、 p -曲率予想を離れて、微分方程式論に大きな進展をもたらしました。Katz理論の高次元化は自然な問題と思われます。高次元化というのは、完全積分可能な線形偏微分方程式系に対する理論を指します。Katz理論で中心的な役割を果たす加法的および乗法的 middle convolution の高次元化について得られた結果をお話ししたいと思います。このような結果が、整数論に何かもたらすものがあるか、興味のあるところです。